

科目	数学A	学年	第1学年	開講	通年	必修	2 単位
----	-----	----	------	----	----	----	------

教科書:「高等学校 数学A」数研出版
副教材:「4プロセス 数学 I +A」数研出版

1 学習の到達目標

図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点							
							a	b	c					
前期	場合の数と確率	場合の数	集合の要素の個数	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	4	中間	☐	☐	☐					
			場合の数				☐	☐	☐					
			順列				☐	☐	☐					
			組合せ				☐	☐	☐					
		確率	事象と確率	確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	5		☐	☐	☐					
			確率の基本性質				☐	☐	☐					
			独立な試行と確率				☐	☐	☐					
			条件付き確率				☐	☐	☐					
		期待値	7	☐	☐		☐							
				☐	☐		☐							
	図形の性質	平面図形	三角形の辺の比	平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	7		☐	☐	☐					
			三角形の外心・内心・重心				☐	☐	☐					
チェバの定理・メネラウスの定理			☐			☐	☐							
前期 授業評価							☐	☐	☐					
後期	図形の性質	平面図形	円に内接する四角形		9	中間	☐	☐	☐					
			円と直線		10		☐	☐	☐					
			2つの円				☐	☐	☐					
			作図		11		☐	☐	☐					
		空間図形	直線と平面	空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。			☐	☐	☐					
			空間図形と多面体				☐	☐	☐					
	数学と人間の活動		約数と倍数	さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を数学を用いて考察できるような力を培う。	12	期末	☐	☐	☐					
			素数と素因数分解		1		☐	☐	☐					
			最大公約数・最小公倍数				☐	☐	☐					
			整数の割り算		2		☐	☐	☐					
			ユークリッドの互除法				☐	☐	☐					
			1次不定方程式		2		☐	☐	☐					
			記数法				☐	☐	☐					
			座標の考え方		2		☐	☐	☐					
			ゲーム・パズルの中の数学				☐	☐	☐					
			後期 授業評価							☐	☐	☐		

3 評価の観点

- ・数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしているかどうか。
- ・事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決できるかどうか。

4 評価の観点

- 知識・技能: 定期考查
- 思考・判断・表現: 定期考查・レポート
- 主体的に学習に取り組む態度: ワークショップ型授業・レポート